



発行者：社会福祉法人じねんじょ
 発行日：平成28年9月1日
 TEL：083-252-2227
 FAX：083-252-2259
 E-mail：jinenjo@jinenjo.or.jp
 http://www.jinenjo.or.jp

大地

(じねんじょ通信)

VOL.
26
 2016/09

じねんじょ公開フォーラム2016報告

2016年6月18日(土)、環境みらい館にてじねんじょ公開フォーラムを開催いたしました。

今回は「つながれ!ひろがれ!!サポーターの輪～誰もが住みよいまちづくりを目指して～」と題しまして、山本千栄子氏を講師にお招きし、あいサポート運動の研修とご講演をいただきました。この度は65名の方々にご参加いただき有意義な時間を過ごしました。

山本様のご講演から、誰もが暮らしやすい地域社会を実現するためには、法整備だけではなく、その地域に住む私たち一人ひとりの意識をバリアフリー化していくこと、心のバリアを解消していくことが必要だと感じました。

あいサポート運動の研修を受け、あいサポーターとしての取り組みが障害者差別解消法の実践そのものにつながると感じました。ご参加いただいた方からは、あいサポーターの一員として、あいさつや「何かお手伝いすることはありますか?」といった声かけから始めたいといった感想も聞かれました。

今回のフォーラムは、誰もが住みよいまちづくりのために、地域の一員である私たち一人ひとりが、それぞれの立場でできることを考え、実践への意欲につながる機会となったのではないかと思います。あいサポート運動が、地域の方々に広まり、地域の中にサポーターの輪が広がることで、障害のある方の社会参加が今後ますます進んでいくことを願っています。

あいサポート運動 「障がいを知り、共に生きる」



平成28年第39回馬関まつり 愛のひろば参加報告

平成28年8月20日(土)馬関まつり愛のひろば(唐戸)に出店参加しました。

子供から大人までついつい白熱してしまう毎年恒例のネットゲームは、やっぱり大盛況でした。大切に育てた青山庵の新鮮な夏野菜、キーンと冷えたジュース・ビール販売。

中でも、猛暑が続く今年の夏、みんなで毎日コツコツとつくりあげた作品、陶芸・手芸・ビーズ作品・いっぽんいっぽん紡いださをり織布を利用した髪止めやポケットティッシュカバーなどに足を止め、作品を見ていただけたことが何より嬉しく思いました。さらに作品を気に入って購入してもらったことは、メンバーにとって次への作品制作の意欲に繋がったことでしょう。

10月に開催する“じねんじょフェスティバル2016”に於いても、心を込めた作品をご用意してお待ちしています。



今年も開催!! じねんじょフェスティバル2016 テーマは ～じねんじょ はっしん～

バザーやイベントなどメンバーとお客さんが一緒に楽しめる催しを考えています。是非お越し下さい。

写真は昨年の様子です

日時 2016年10月23日(日) 10:00～14:30

会場 じねんじょ・かねはら小児科



とってもおいしい じねんじょ給食紹介

摂食嚥下機能に障がいがある方には、噛むことが十分にできない、あるいは、飲み込むことが上手にできないために、丸のみ、窒息、誤嚥といったリスクがあります。このリスクを回避するためには、食形態の調整が欠かせません。また、幼児期・学童期の摂食嚥下機能の発達途上にある段階で、不適切な食形態を提供することは、障がいを助長し、機能獲得の誤学習を招くことにもなってしまいます。

当センターの日中利用メンバーへの給食としては、「普通食」「やわらか食」「嚥下食」という3種類の食形態を提供しています。

「やわらか食」は、口唇閉鎖や歯での咀嚼が難しく、口腔内で食べ物を十分に処理することができないメンバーに提供します。従来の「普通食を刻む」という危険な食形態ではなく、食物の“大きさ”よりも“硬さ”に着目して、舌で押しつぶせるやわらかさを目安に作っています。肉や魚には片栗粉などのつなぎを利用して、水分を含ませ、やわらかく仕上げたり、野菜には圧力鍋を利用したりします。

「嚥下食」は、嚥下反射の動きが鈍く、咽頭部に食塊が残りやすいために、安全に飲み込むことが難しいメンバーに提供します。粒がないようにミキサーにかけ、トロミ剤やゲル化剤を利用して、やわらかいゼリー状に作っています。

メンバーが安楽に味わえて、介助者も安心して口に運ぶことが出来、調理をする側も安定して提供できる食形態づくりを心がけています。

嚥下食

やわらか食



さつまいもサラダ



エビフライ
じゃがいもと
さやいんげんの炒め煮



ほうれん草の
アーモンド和え



鮭のムニエル・
タルタルソース



しょうが焼き・
かぼちゃのはちみつ煮



肉じゃが

生活介護じねんじょ 分場だいちの活動紹介

分場だいち、垢田の交差点を新下関方面に少し下ったところにあります。だいちメンバーは、主に作業的な活動をする事で、地域との繋がりや自己の達成感を目指して日々楽しみながら生活しています。手作りの作品は馬関まつりや、じねんじょフェスティバルで販売させていただいているので、ぜひ手に取って見てもらいたいと思います。

その分場だいちには、大きな窓ガラスがありとても開放的なのですが、暑い日差しが差し込んできます。そのため、毎年ゴーヤのグリーンカーテンを作り、暑さを凌いでいます。

今年のゴーヤは大きく育ち、みんなでゴーヤジュースを作って飲みました。ゴーヤの新鮮なおおいを嗅いだり、ワタを取り出してカットしたり、自分たちで育てた野菜をジュースにして味わう、そんな至福の時をメンバーと共に満喫しました。

今は少し弱々しくなったグリーンカーテンも、この夏の暑さに負けまいと頑張ってくれています。



生活介護じねんじょ ひなた活動紹介

地域交流

じねんじょから徒歩10分の所にある「デイサービスセンター大正浪漫館」に交流に行かせて頂いています。メンバーが行くと「若い子が来て嬉しい」「元気をもらおうよ」などの声を掛けて頂き、一緒にうたを歌ったり脳トレをして楽しい時間を過ごさせて頂いています。



さをり織

「カタン、コットン」の音や手触りが好きで皆さん楽しくさをり織をしています。

今年は織れた布をボランティアさんに裁縫してもらい、コラボ作品として出来上がった物を、馬関まつりやじねんじょフェスティバルで販売させて頂く予定です♪



生活介護じねんじょ 本体活動紹介

じねんじょ本体フロアのメンバーたちは、本人の身体に合った車イスに乗られています。柔らかく調理された食事を食べる方もいれば、チューブを通して食事をされる方もいます。わくわくドキドキしながら参加しているクッキングや音楽、外出など、いくつかの月中活動を紹介したいと思います。

〔クッキング〕季節の食材を取り入れたり、下関名物の瓦そば、冷凍食品のパスタ、カップ麺などを再調理し、作る工程で触感や香りを感じながら食を楽しんでいます。

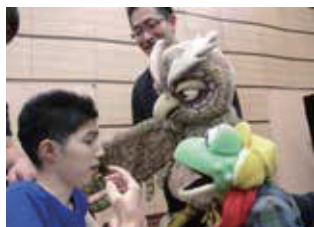
〔音楽活動〕外部から講師を招いたり、支援員が演奏します。それに合わせて、メンバーが楽器を鳴らし、歌を聴きながらリズムを刻む音を楽しんでいます。

地域に出て行く事も大切に、春には桜を、秋には紅葉を見に行き、季節を感じています。また、外食に出掛けたり、メンバーと相談して買い物、好きな映画を映画館で観たり、パソコンでネイルの模様を調べ、ネイル専門店に行きます。

このような活動を通して、表情が穏やかになったり、少し手を動かしたりと色々な反応があります。見たり聞いたり、実際に触れてみたり、香りを感じたりと、様々な感覚を通して楽しんで頂いています。地域の人たちなど、1人ひとりの輪が広がることも大切にしています。



ヘルパーステーションふわり 活動紹介



じねんじょ利用者を主とし、ご自宅での入浴介助、通院等介助、楽しみの週末のお出掛けの支援をしています。

今号では、メンバーが一番楽しみにしている最近のお出掛けを紹介します。

個別外出の利点は、本人ペースで外出を経験することで、家族から離れ、通所施設(集団活動)では見られない新たな発見がたくさんあることです。

今年度より、県内、市内、北九州市で行われている行事やイベントの一覧を配布し、ご本人とご家族で検討し、希望の外出があれば申込書を提出するシステムに変更してみました。

沢山の経験から、地域社会の中で自己選択・自己決定が出来るよう、これからも支援していきたいと思えます。

お花見、人形劇、ミュージカル「白雪姫」、コンサート、料理教室(下関市生涯学習プラザ)、風船バレー(下関市障害者スポーツセンター)、巖流島渡船、同窓会、プールなど

放課後等デイサービス むく活動紹介

今年の夏は猛暑続きでしたが、暑さにも負けず、元気いっぱいパワフルなむくメンバーの夏休みの活動を紹介します。

地域のイベントボランティアの方に来ていただき、音楽コンサート、絵本の読み聞かせ、人形劇、バルーンアート、マジックショーなど、わくわく楽しい時間を過ごしました。また、日々の活動にもボランティアの方々にご協力いただきました。

メンバーは好きなことや興味のあることを通して、地域の方と交流することができました。メンバーの全身で楽しむ様子やたくさんの笑顔を見られ、地域の方からも「元気をもらった、また来たい」と言っていただきました。

これからも地域とのかかわりを大切に、人の輪をつなげ、広げていきたいと思えます。

その他には、かき氷や屋上のプランターで夏野菜収穫、野菜スタンプなど、夏ならではの活動を行いました。シャボン玉あそびでは、電動のシャボン玉機にスイッチをつなぎ、スイッチを押したらシャボン玉が出るという仕掛けに、メンバーは興味津々。因果関係に気づくと笑顔も見られ、充実の表情で楽しまれていました。「できた」という想いを育み、遊びを豊かにしてくれるスイッチをいろいろな場面で活用していきたいと思えます。



児童発達支援事業 むくっこ活動紹介

むくっこでは、幼児期に大切な、生活のリズム作りや感覚等に働きかける日中活動を展開しています。メンバー本人の「やりたい」の気持ちに寄り添いながら、身体と心の成長を支援しています。



年に一度の運動会!! わんぱくフェスタ
みんなと一緒に楽しかった!!



片栗粉スライム
トロトロ～リン
いい気持ち～!!

電動カー楽し～い♪
きーっと乗っていたいな～♪



何の絵本?
おもしろそうだ!!



まかしといて～!

お兄ちゃん
ボウリングがんばって♡

相談支援事業を立ち上げて

●相談支援事業所じねんじょ 小寺美帆

平成28年6月1日に相談支援事業を立ち上げて、3ヶ月が経過しようとしています。8月1日現在で、計画相談契約者が3名、障害児相談契約者が4名、障害児相談契約予定者が3名おられます。

まだまだ契約件数は少ないですが、それでも実際に自分が相談支援専門員として業務に就いてみて感じていることは、ご家族をはじめ、ご本人さんを取り巻く様々な支援者の想いのすり合わせの難しさです。

当然ながらご本人のより良い成長や生活のために支援者の様々な想いがあります。その想いがそれぞれの方向に向かっていたのでは、ご本人を混乱させるばかりか、支援者も疲弊してしまうと思います。相談支援専門員として、ご家族はもとより、専門職のそれぞれの想いを最大限尊重しつつ、しかしご本人にとってそのときに必要な支援を共に考えていきたいと思っています。

相談支援専門員としての自分に何が不足しているのか、具体的にどう行動していけばよいのか、3ヶ月を振り返り整理して、今後の業務につなげていきたいと思っています。



じねんじょの輪

一昨年、職員向けの研修会「いきいき働くモチベーションアップの秘訣」を担当させていただき、引き続き、進行役として職場学習会をサポートしています。学習会では、「フィッシュ!哲学」4つの秘訣を土台として、相互理解を深めるコミュニケーション、多様な視点や考え方を学ぶ方法を伝えています。

その一方で、わたし自身は、じねんじょで顔を合わせるメンバーから様々なことに気づかされています。

昨年5月、季節外れの夏日のこと、じねんじょフロアにて、あるメンバーが、わたしのシャツの袖をつまんで引っ張りながら「長袖を着ていて暑くないですか?」と声をかけてくれました。わたしのことを気遣ってくれた言葉に多少驚きながらも「ありがとうございます。確かに外では暑いよ。ただし、この後の訪問先は冷房が効いているので、風邪ひかないように長袖にしています。」とゆっくり返答しました。この短い会話が、いつまでも記憶に残る経験となり、職員だけでなくメンバーにも意識を向けるきっかけとなりました。

今は、何か伝えたいこと聞きたいことがあるだろうとの前提でメンバーと向き合うように心掛けています。表情やしぐさからもメッセージを受け取れるように。



株式会社リアルモチベーション
フィッシュ!ファシリテーター 岡 雅史

寄付者氏名(敬称略、順不同)平成28年3月1日～8月10日

学校での医療的ケアを考える会
やまぐち小児科 前田正子(スナック蓼)
フタバ工芸社 さりを織サークル
白石厚子 もみの木薬局
ぶくぶくポケット

たくさんのご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

前田正子

「スナック蓼」50周年記念としてご寄付を頂きました。「多くの皆さんの係わりと支えがあり50周年を迎えることが出来ました。」と感謝の気持ちが込められたご寄付でした。



編集後記

今回は、各フロアの活動の様子をご紹介しました。多くのボランティアの方や地域の方との係わり、日々を楽しく過ごすことができています。「感謝!感謝です。」